

学校教育目標	めざす子どもの姿	総 合 評 価
<かりがね精神> ・磨き合う知性 ・感じ合う心 ・鍛え合う身体 ・見つめ合う命	・自ら意欲的に学ぶ生徒 ・豊かな心を育む生徒 ・進んで身体を鍛える生徒 ・命を大切にする生徒	
	本年度の重点目標	
	自分の「好き」「楽しい」「こだわり」を自分からとことん追究していく ～教科学習・総合学習・部活動（クラブ活動）・地域との関わりを通して～	

◇ 評価基準 A・・・達成できた／ B・・・おおむね達成できた／ C・・・やや達成できなかった／ D・・・達成できなかった

領域	項目 評価	評価の観点	成果と課題	評価（％）				改善策・向上策
				A	B	C	D	
活動	魅力ある学習活動	①疑問や興味関心を大切に、学びを進めることができるか。	○生徒たちの身近なことで使って、例を出したりすることで理解を深めるように努めた。 ○自由進度学習を実践し、年間を通してテーマ達成に向けて実践を進めていくことができた。	20	60	20	0	・課題を生徒から引き出すために、導入で使用する資料を吟味し、提示の仕方も工夫する。 ・基本的な知識や技能を定着させる時間が不足してしまうことがあるので時間配分に注意する。
		②友との学び合いを通して、自分と違う見方や考え方から自分の考えを深めることができるか。	○生徒同士で考えを共有できるよう、題材や場面によってやり方を工夫できた。 ●自分から動いて聞くことができない生徒への支援が乏しくなってしまう。	13	47	33	7	・学び合いの場を設けていると時間がかかることが多いため、限られた時間の中で、どの場面で学び合いの機会を設けるか、よく吟味する。
		③学びの計画、実践、振り返りの場面を大切にできているか。	○振り返りシートに疑問等を書いて、個々に返答したり、全体で扱ったりしている。 ●こちらが主導してしまうことが多かった。 どう生徒に委ね、生徒自身が学習していく方法を設定するのか、考えていきたい。	20	53	20	7	・生徒自身が問題解決の見通しをもって、追究活動できるようにする。 ・全体で予想できる時間を取るようになる。
	みんなが居心地のよい学校	①地域の方や先生、生徒に対して気持ちの良い挨拶を心がけているか。	○地域の方から気持ちの良い挨拶ができていると多く聞く。 ●こちらの挨拶に対し、気持ちよく返してくれる生徒が多いが、一部挨拶ができない生徒もいる。教員や来校者より先に挨拶ができる生徒が増えると良い。	47	33	13	7	・生徒会が中心となって活動できるようにする。 ・教員から明るく積極的に挨拶をする。
		②ソーシャルスキル（相手の良さに気付く、認める、思いやる）を高めることができるか。	○よい行いや、頑張りをその都度認め褒めるよう心がけた。自分では気づきにくい、よい面を言葉にして表し、伝えることで本人が認知するようにした。 ●他責思考で考えてしまい、相手への思いやりに欠けてしまう生徒が見られる。	7	60	33	0	・生徒一人一人に対して肯定的な声かけを心がける。物事の捉え方に偏りが見られる生徒については、一緒に状況を整理しつつ、自分自身の行動を振り返られるように支援する。 ・子どもの思いを傾聴し、対応に困った際は、学年に相談しながら進めていく。
		③生徒は、自分たちの生活を向上させるために様々な活動を考え、行動しようとしていることができるか。	○生徒会を引き継ぐ上で、子ども達が自分たちの生活を向上させようとしている姿があった。 ●教員が先回りして準備をしすぎてしまうことがある。	13	53	27	7	・生徒に見通しをもたせ、任せるべきところは粘り強く見守るようにしていく。 ・先回りし過ぎず、考えさせる時間をとるようにする。
	地域とともにある学校	①生徒会と連携して、地域のイベントやボランティア活動へ参加することができるか。	○ボランティア開催の紹介の際に、メリット等を含めながら伝えることができた。 ●「ボランティア」が少ない際にどのように声かけをするか、生徒の都合や意思を尊重しながら工夫していきたい。	13	40	27	20	・引き続き、ボランティアを行う意義などにも触れながら、告知を伝えていく。 ・生徒が参加した際には声をかけることや、都合が合うなら様子を見に行くなど見届けの場面も大切にしていく。
		②学んだことを通して、真田地域の魅力について再確認し、発信することができるか。	○総合的な学習の時間の中で 2 年生は真田地域で働く魅力や地域のよさについて着目した体験活動を行うようにしてきた。 ●1・3 年の総合的な学習の時間に地域について学びを深める機会を十分に設定できなかった。	13	34	20	33	・教師自身が真田について知る機会を設けることを検討する。 ・どの学年でも真田地域のことについて考えるための時間を確保する。
		③「食育」「サルビア	○地域の方には親身になって中学生のために、	20	47	0	33	・粘り強い呼びかけ、参加することで得ら

		つくり」「カルチャークラブ」などの特色ある教育活動を通して、地域の方々とともに学び合うことができているか。	関わっていただきありがたかった。地域の方が学校にすることが自然になってきている。 ●積極的に呼びかけは行っているが、学級の生徒からのカルチャークラブへの参加が少ない。					れるメリットを積極的に発信したい。 ・来年度に向けて地域の方々とともに学ぶ合う方法について検討する。
学校運営	家庭や地域と連携した学びの場の創造	①地域と連携し、特色ある教育活動の充実に努めているか。 (学校運営委員会・学習支援ボランティア・PTA等)	○PTA の活動を保護者の方、先生方とスムーズに行うことができた。 ○教頭先生中心に地域に開けた学校づくりができていると思う。	27	53	0	20	・無理のない範囲で、学校として、地域と連携し、特色ある教育活動の充実に努める。 ・学校が受け身な姿勢が多いので、改善していく。
		②地域に開かれた、また、地域に信頼される学校づくりに努めているか。(HP の発信・各種通信の発行・学年学級PTA)	○tetoru が活用されていていいなと思います。 ●親御さんも忙しくしていて、tetoru 配信しても意外に見ていないようにも感じる。 ○学年通信の発行等で目的に近づけるようにしている。	53	33	7	7	・生徒の頑張っている姿や内容を発信していく。